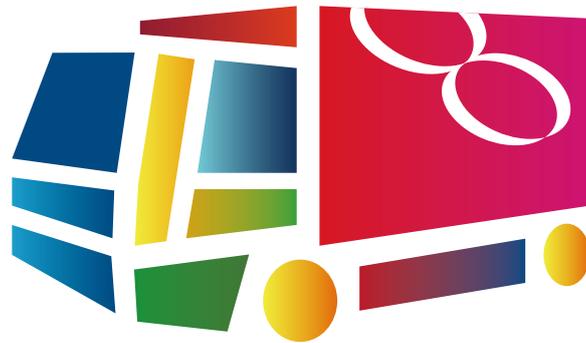


# A-TRUCKのSDGs

わたしたちはSDGsへの取り組みを通じて、  
地域の皆さまとともに、持続可能な社会の  
実現に努めてまいります。



## SDGs Report version.1

<b>2023年度のSDGs活動予定</b>	週休二日制の導入、休暇取得日数の向上、早帰り促進 	行動規範の策定、「品格の向上」に向けた施策立案・実施 
社内OJT、研修制度、社内勉強会等の充実、職場体験制度の導入 	女性役員・女性管理職の育成と更なる登用 	自治体との災害協定締結（物資輸送等の車両優先提供） 
運送会社等のBCPへの参加先社数の拡大 	拠点施設、トラック等の防災対策の充実、防災グッズの整備 	ペーパーレス化の促進・リサイクル紙の活用促進 
事故防止パンフの配布・声掛け運動促進 	誰もが働きやすくなるような業務マニュアルの整備 	備品・設備の更改による業務効率化 

対談

守屋社長×二宮朋子氏

## SDGs で変わる A-TRUCK の 今と未来



2022年からA-TRUCKが活動を加速させたSDGsについて、改めてその活動をより多くの社員に知ってもらうため、A-TRUCK SDGs ワークショップで講師を務めている二宮朋子氏と対談を行いました。守屋社長がなぜ会社をあげてSDGs ACTIONを開始したのか、さらには、これからのA-TRUCKが地域や社会にどのような価値を創出していくのかを語ってもらいました。

### 二宮

2007年に起業され、15年あまりでこれだけの成長をとげていらっしゃいますが、着々と拡大してこられた1番の秘訣はどんなところだと思っていらっしゃいますか。

### 守屋

まず第一に必要なのが勢いではないかと思います。私の場合は、サラリーマン時代からトラックレンタルという点に着目していました。当時、顧客が保有していたトラックの実績などのデータを作っていたのですが、もし実際に自分が起業したなら、最低でも100～200台は運営できるという確信をもっていました。そのデータがあったため、起業当初、こんなに投資して大丈夫か、こんなに借金して大丈夫かという不安を感じなかったのが、一つの要因だと思います。

### 二宮

とにかくやってみようということで始めて、急激に成長した今、改めて転機を迎えられていると思います。そのあたりはいかががお考えですか。



### 守屋

実は（売り上げが）50億円を突破したら、今までのステージを超えて、なにか世界が変わるかもしれないという、憶測はしていました。実際、新たな大きなハードルを強く感じました。やはりこの先へと進むためには、勢いだけではできない、改めて踊り場のようなものを作って、企業の再構築をしなければという思いが生まれました。

### 二宮

再構築を考える際、何が御社に改めて必要だと思われましたか？

### 守屋

今までは私個人のセンスというか、感覚的に運営をさせていただいていました。それを、しっかりしたデータや根拠、そして幹部および社員の発想を元に、新たなスタイルの運営に切り替える必要があると思っています。

### 二宮

創業から15年というタイミングで社長がSDGsに着目されたのはなぜですか。

### 守屋

新しい時代である今、雇用問題、とくに採用が一番難しいと思っています。やはり働きやすい環境、居心地のいい環境というものが、今後強く求められていくだろうと。そこで、「今年は労働環境改善のために、こういうことに取り組みます」という約束事を、世の中に対してではなく社員に対して発信していくためにSDGsを活用できるのではないかと考えたのがきっかけです。

## 二宮

SDGsは持続可能だというところがポイントです。皆さんの組織や会社そのものが継続していくために、これからの時代どうあっていくべきかということを考える時にも役に立つフレームワークの一つなので、守屋社長は良い使われ方をされているなど感じます。取締役の女性登用など、女性の活躍にも力を入れてらっしゃいますよね。

## 守屋

そうですね。ただ、別にジェンダー平等やSDGsがどうこうでもなく、基本的にはビジネス平等の結果です。求める人材がたまたま今役員を務めている2名の女性だったということです。

## 二宮

採用の現場などで市場にいる学生の皆さんだったり、中途採用の皆さんの御社に対するイメージの変化というのは何か感じたりされていますか。

## 守屋

今年に関して言えば、子ども教育支援手当や禁煙手当などの手当を増やさせていただきました。社員の家庭環境がより豊かになるということと、喫煙者と禁煙者の摩擦を減らしつつ健康促進にもなるという部分で、好評であるなど感じています。

## 二宮

雇用に関しては、継続率や定着率について何か課題をもっていらっしゃいますか。

## 守屋

ありがたいことに、今トラックレンタルの需要が増えて稼働率がとても高くなっています。社員一人当たりのキャパや、キャパオーバーになったら周りがどこまでケアすべきかなどを、考えねばならない。そこでお互いの気持ちを理解するために各部署が交流しあえる取り組みを始めています。たとえば車両業務担当の社員にフロントに入ってもらえば、お互いの業務や気持ちが理解できるのではと。私自身も各拠点に足を運んで、社員と交流を持ち、しっかりと向き合って話を聞いて、彼らの理想に近い形の会社を作っていくことを模索していく段階に入らなければならないと肝に銘じています。

## 二宮

現場の声を聞き、それを反映させていくことをトップがやるようになってくれている姿そのものが、皆さんのいい影響につながってくると思います。その際に、うちの会社はじゃあどういう方向を目指しているんだろうか、この会社で自分は10年後20年後はどうなっているんだろうという不安は、どの業界でも感じる方は多いと思うんですが、そのあたり何か対策されていますか。

## 守屋

私の場合は、日本一になりたいという高い目標を持っているものから、それをしっかり伝えることにしています。とにかく2035年には3,500台保有する、それがイコールこの業界の日本一を取るということにつながると思います。その夢は必ず各拠点のメンバーには伝え、その中で今が必要なのかを一緒に



二宮 朋子  
早稲田大学ビジネスファイナンス研究センター  
招聘研究員  
SDGs・ダイバーシティ観点での戦略的人材組織  
論・ブランド論が専門。

に考えようとしています。だから方向性という部分に関して言うと、まずゴールは日本一だということが決まっています。それをステップバイステップで進めるにあたって、どういう視点をもてばいいのか、どういう組織を作りたいのか、一つずつしっかりと意見を酌み取っていきたくと思っています。そしてこのSDGsの課題のように、自分たちの約束事をきっちり社員に向かって継続的に発信するということを、あらためて意識しています。

## 二宮

御社のSDGs研修を担当させていただいた際に、17ゴールあるうちの「働きがいも経済成長も」を会社の中でも大事にしていきたいとおっしゃっていた社員の方が多かったのが非常に印象的でした。やはり社長がおっしゃったように足元をしっかりと固めていったうえで、日本一を目指していこうというその体制に社員の皆さんがなっているのが素晴らしいと感じます。

そして、東日本大震災の復興支援等をはじめ、「住み続けられるまちづくりを」というゴールにも、御社は非常に貢献されていると思いますが、そのあたり実感はありますか。

## 守屋

そんなだいそれたことはしていません。ある意味、ステークホルダーの方たちも含めて、仲間づくりという意識の方が大きいです。我々と関わった人たちがすべて、幸せづくりのために寄り添っていくというか、お金のやりとりではなく、心のやりとりというものが、企業というものを大きく成長させる。それが、私の中では大きな意味を持っているんです。仲間を作り、共に歩いていく。その中でお互いが尊重し合い、共に成長していくところが私の大きな人生課題でもあります。

## PICK UP!

## 2022年度の活動と成果

## 社員のボランティアへの参画促進（近隣の清掃等を含む）

A-TRUCK では、地域の皆さまとともに持続可能な地域社会の実現を目指し、2022年度もさまざまな活動に参加しました。

- 沖縄の漂着ごみ問題に取り組む「プロジェクトマナティ」に参加（沖縄支店）
- 株式会社地域新聞社が発行する小学生向け副教材「発見たんけん千葉県」版に掲載されました。



関連する  
SDGsの課題



## 社内勉強会等の実施

A-TRUCK の持続的発展にむけて、「組織力」を向上させるためのワークショップを開催しました。

- ワークショップ①  
「組織力向上につながる共通認識醸成」（2022年9月8日実施）  
A-TRUCK の持続的発展に向け、これからの時代に必須の「共通認識」である SDGs について学びました。普段は業務の話が中心のメンバーと一緒に会社の未来を考えることで新たな視点を知り、自身の視野も広げる場となりました。
- ワークショップ②  
「組織力向上のためのマネジメント・トレーニング」（2022年12月5日実施）  
管理職（リーダー・マネージャー）に必要なスキルについて学ぶワークショップです。昨今の組織課題となりがちな「ハラメント」について、具体的なケーススタディを用いながらこれまでの自身の言動について振り返り、今後の日常業務においても、継続的に考えられるようディスカッションを重ねました。
- ワークショップ③  
「今後の発展に向けて行動指針ワークショップ」（2023年2月17日実施）  
A-TRUCK の未来を支える「行動指針」のあり方、内容について考えるワークショップです。成長企業の課題である「行動指針」の浸透について、具体的な他社事例も用いながら、これまで自身が何を基準に仕事をしてきたかを振り返り、今後の日常業務や後輩・部下指導において、会社が大切にしていることをどのように伝えればよいかを改めて考察。組織として大切にしたいこと、社会に求められる企業姿勢を意識した上で、「A-TRUCK らしさ」を育むキーワードを抽出し、発表しました。



関連する  
SDGsの課題



## SDGs アイデア募集！

SDGs への取り組みとして、A-TRUCK として何ができるのか。これからも A-TRUCK がお客様や地域の皆様からの「ありがとう」のためにどうすればいいのか。アイデアを広く募集します！

応募方法や詳細については、後日ご案内いたします。